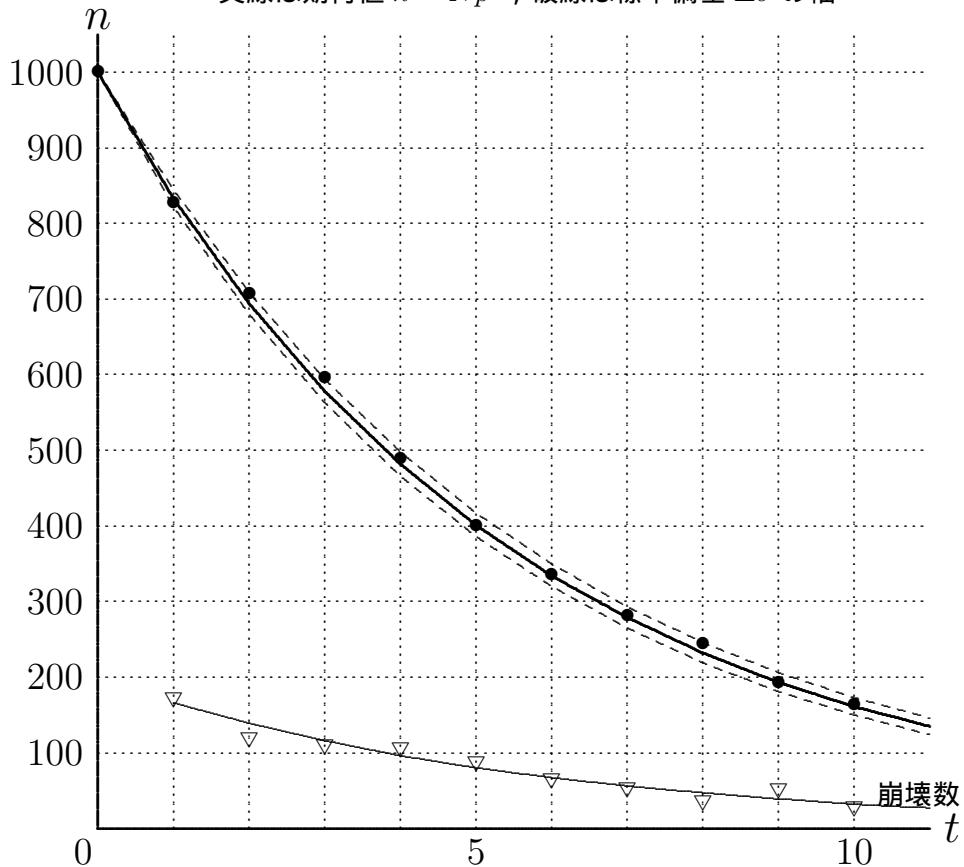


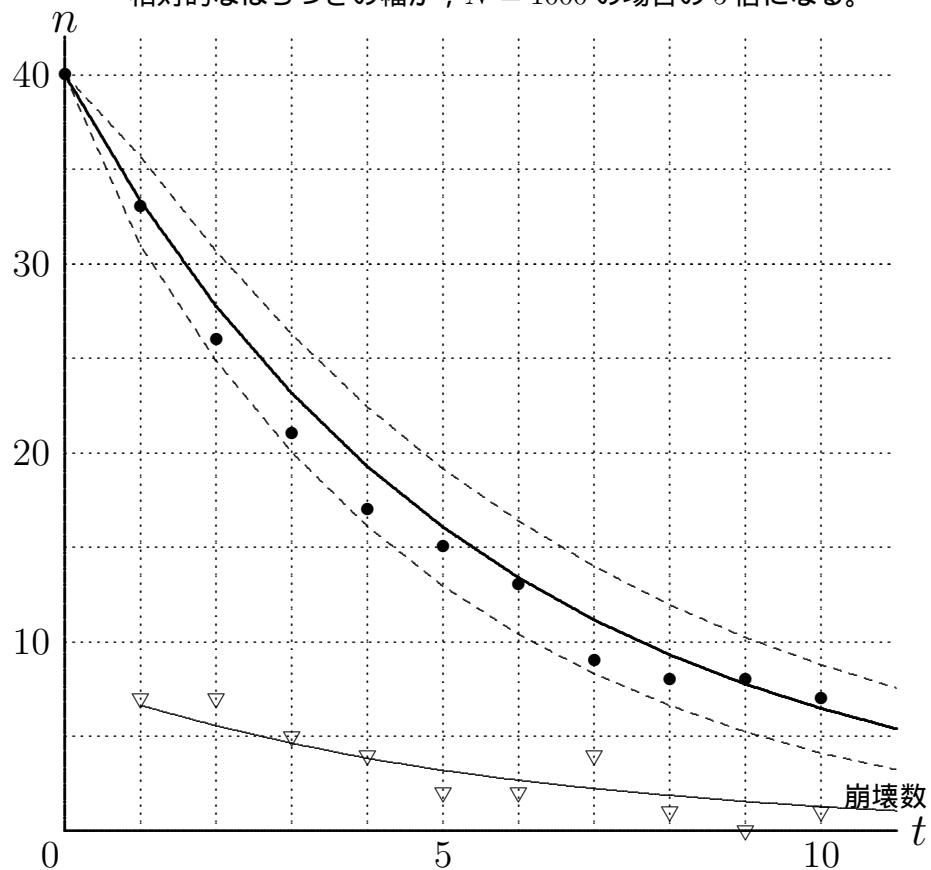
$N = 1000$

実線は期待値 $\bar{n} = Np^t$, 破線は標準偏差 $\pm\sigma$ の幅



$N = 40$

相対的なばらつきの幅が, $N = 1000$ の場合の 5 倍になる。



(2項分布)

各粒子が $t (= 1, 2, 3, \dots)$ まで生き残っている確率は p^t , t までに崩壊する確率は $1 - p^t$ だから, 時刻 t に n 個生き残っている確率は、「どの n 個が生き残り, 残りの $N - n$ 個が崩壊したか」の場合の数を考慮して

$$2\text{項分布} \quad P_N(n, t) = {}_N C_n (p^t)^n (1 - p^t)^{N-n} \quad (1)$$

で与えられる。期待値と分散は母関数

$$f_N(x, t) = \sum_{n=0}^N P_N(n, t) x^n = (p^t x + 1 - p^t)^N \quad (2)$$

を用いて計算できて

$$\bar{n} = f'_N(1, t) = Np^t, \quad \sigma^2 = \overline{(n - \bar{n})^2} = \overline{n^2} - \bar{n}^2 = Np^t(1 - p^t) \quad (3)$$

である。 N が大きければ主要部分は正規分布で近似できて, 上の図の $\pm \sigma$ の幅には試行の 約 68% が入る。 σ^2 は以下の等式で計算する:

$$f''_N(1, t) = N(N-1)p^{2t} = \overline{n(n-1)} = \overline{n^2} - \bar{n} \quad (4)$$

(漸化式で 2 項分布を求める)

ある時刻に n' 個が生き残っているとき, そのうちの $n (\leq n')$ 個が次の時刻まで生き延びる確率は, サイコロを n' 回 (または同時に n' 個) 振るベルヌーイ試行の確率であり, 過去の履歴に依存せず

$$P(n|n') = {}_{n'} C_n p^n (1-p)^{n'-n}, \quad f_{n'}(x, 1) = \sum_{n=0}^{n'} P(n|n') x^n = (px + 1 - p)^{n'} \quad (5)$$

だから,

$$P_N(n, t) = \sum_{n'=n}^N P(n|n') P_N(n', t-1) \quad (6)$$

$$\begin{aligned} f_N(x, t) &= \sum_{n=0}^N \left(\sum_{n'=n}^N P(n|n') P_N(n', t-1) \right) x^n \\ &= \sum_{n'=0}^N \left(\sum_{n=0}^{n'} P(n|n') x^n \right) P_N(n', t-1) \\ &= \sum_{n'=0}^N (px + 1 - p)^{n'} P_N(n', t-1) = f_N(px + 1 - p, t-1) \end{aligned} \quad (7)$$

ここで等式

$$p^{k-1}(px + 1 - p) + 1 - p^{k-1} = p^k x + 1 - p^k \quad (8)$$

を $k = 2, 3, \dots, t$ と順に適用していくば母関数

$$f_N(x, t) = (p^t x + 1 - p^t)^N \quad (9)$$

が決まり, これを展開した x^n の係数として上の $P_N(n, t)$ が求まる:

$$\sum_{n=0}^N P_N(n, t) x^n = \sum_{n=0}^N {}_N C_n (p^t)^n (1 - p^t)^{N-n} x^n \quad (10)$$